

京都大学は1897年、社会における科学・技術の役割の急速な拡大を背景として、創造的な研究を通して人材を育成するというファンボルト理念の下に、我が国で2番目の帝国大学として創立されました。爾来、京都大学は、自由で創造的研究を重んじ、新たな知的価値の創出によって「地球社会の調和ある共生に貢献すること」を基本理念として、アジア諸国の中で最多のノーベル賞やフィールズ賞の受賞者を輩出するなど、我が国を代表する研究型大学として歩んできました。

現在本学は、約5,500名の教職員と23,000名近くの学生（学部生約13,000名、大学院生約10,000名）を擁しています。教員は、44の学系（専門領域に基づく教員組織）に属し、10学部、18大学院研究科、30を超える研究所・センターという多様な組織で教育研究活動を展開しています。本学の教育の伝統は、自らに課題を課し自学自習によりその解決に向かって努力することを促し、学生の創造的精神の涵養をはかることがあります。その前提となるのは、確実な科学的知識と幅広い豊かな人間的素養であり、国際高等教育院では、入学した全ての学生に全学共通教育を課し、健全な知的市民としての成長を求めています。

2017年に本学は、指定国立大学法人の指定にあたり、①独創的な研究を支える柔軟な研究組織体制の構築、②次世代若手研究者の育成と国際循環の推進、③包括的産学連携の推進と人文社会科学の積極的な発信、④実効的な大学運営と財政基盤の強化、を骨子とする将来構想をまとめました。さらに本年3月には、本構想の具体化に向け、①教育と学生支援、

②教員の研究活動支援、③業務運営体制の改善、④施設、⑤組織運営、⑥基金活動、の各課題についての基本方針「世界に輝く研究大学を目指して」を策定しました。新時代の教育・研究・運営のための機能的インフラ整備を着実に実行していく予定です。

京都大学は、来る2022年に創立125周年を迎えます。これまで本学は、独創性と多様性を尊ぶ学風の下、多くの豊穣な果実を結んできましたが、未来に向けて美しい実を結び続けていくためには、新しい苗木を植え正しく育てていかなければなりません。120年余にわたる力強い歩みを確実に未来に繋ぎ、新たな知的価値の創出と豊かな人材の養成によって社会に貢献する大学としての一層の進化を目指して、全力を尽くしていく所存です。

この「京都大学概要」は、優れた人材を育成するための教育、真理を探究するための研究、多様で多岐にわたる社会貢献、基礎・教養教育や入試改革、並びに国際化や機能強化のための大学改革など、本学が力を入れて推進している現状をわかりやすく紹介しています。また、京都大学ホームページ（<https://www.kyoto-u.ac.jp>）では、大学の最新情報をお届けしています。

本冊子が皆様に京都大学をご理解いただぐ一助となれば幸いです。

令和3年(2021)年7月

京都大学総長 渕 長博

